

広報 ふだい

2012

5

No.600

お花見給食、楽しいな!

晴天に恵まれた5月2日、はまゆり子ども園（日沢栄子園長、園児71人）の子どもたちが、園庭で給食を食べました。桜を見ながらの給食は格別。みんなカレーライスをおかわりしていました。いっぱい食べていっぱい遊んで大きくなーれ!



「広報ふだい」600号 刻んだ歴史「57年」



皆さんとともに、これからもずっと…

広報担当9年目。「去年と同じじゃないか…」と想ってしまつた、時間だけが過ぎる感じが、締め切りに追われるのです。

文章にはいろいろなルールがあります

広報の文章は、皆さんに伝えたい情報をきちんと理解してもらつて、はじめてその目的が達成されます。そのためには分かりやすい表現、読みやすい言葉が大切です。日本語を書き表すルールはあまな多いのですが、それでもそれなりのルールがあります。

一般的に新聞では共同通信社発行の「新聞用字用語集」を参考にしています。例えば①「常用漢字表」の範囲内の漢字を使う②「送り仮名の付け方」に従う③「現代仮名遣い」に従う④語表記の統一に心掛ける…などがあります。このルールを覚えるのも「苦労」でも、読みやすい分かりやすい広報を作るには必須条件です。学生時代にもっと国語の勉強をしておけばよかった…と後悔しています。



4月号で養殖ワカメの取材に協力してくれた砂合広喜さんの作業場を取材のお礼と掲載写真を届けに訪問。今はすき昆布作りの真っ最中でした。手を休めコンブ漁の取材に協力していただきました。皆さんの協力があって「広報ふだい」は発行できるので

毎月皆さんにお届けしている「広報ふだい」が、今月号で600号を迎えました。昭和30年12月創刊以来、6年8カ月の休刊はありましたが、時代が移り変わっても「情報満載の、見やすく、笑顔あふれる広報紙」を目指して57年間皆さんとともに歴史を刻んできました。そんな「広報ふだい」は、毎号登場してくれる皆さんの協力なくしては決まらなかった。そこで今月は「広報ふだい」をより皆さんに身近に感じてもらえたらと思いい、「広報ふだい」を特集したいと思つています。少し編集者の胸の内も出てきますが、どうぞお付き合いください。(一礼)

皆で考えてほしいことを企画

毎月、いろんなイベントやお知らせなど、役場内外からたくさん情報が集まっています。広報紙では毎月、皆さんに何を伝えたいのかが、大きなテーマです。昨年は、大津波による大変な年でしたので、村の状況をいち早くお知らせし、皆さんに現状を共通理解してもらつたことを重視しました。

一方で、考えてもらいたいという企画では、これまでに「守ろう、チヨウセンアカシジミ」「飲酒運転」「エチゼンクラゲ問題」など、さまざまな企画を特集しました。ときには鼻血を出しながらも一生懸命作つたんですが、皆さん読んでくれましたか？



「新聞用字用語集」で文字をチェックします

村民の皆さんとのいい関係をつくりたい

いきなりですが皆さんは、なぜ、広報を発行していると思つていますか。「広報」は「Public relations (パブリック・リレーションズ)」といい、訳すと「PR」(ピーアール)、「公共の・公衆への広報活動」という意味です。

一般に広報といえば「広報ふだい」のような広報紙を考へますが、それだけではなく、行政から住民へ情報を伝える「広報」と住民からの意見などを聴く「広聴」の二つの意味があります。

村づくりは、行政が考えて住民に押しつけるものではない

毎月手に取って読んでほしいから…

「住民と行政とのよりよい関係を築くこと」を目的とする広報は、まず、皆さんに読んで理解していただかなければ意味がありません。自分の興味がある本などは買つても読みたくないと思つますが、堅苦しい行政広報は、どうやって皆さんに興味を持ってもらい読んでもらうか、広報関係の努力が問われます。

例えば表紙。インパクトのある写真や子どもの笑顔だったりするこついに手に取つてしまつてはいいでしょうか。

広報の主役は村民の皆さんです

広報紙の編集は机の上でもできます。誰かが撮ってきた写真でも使えます。でも、昔から「記事は足で書く」といわれているようにイベントなど実際の現場でその空気を感じ、皆さんの話を聞くことが広報紙の編集には欠かせません。それが生きた広報紙を作る上で重要で

ですから、朝早くても雨が降つても雪が降つても、もちろん天気の良い日も、どこにだって出掛けていきます。

広報紙では、「写真」も重要なポイントです。百行の記事よりも1枚の写真の方が多くを語る場合もあります。姿形、雰囲気などを文字で書くよりも、写真を見た方が一目瞭然です。でも、なかなかい

い写真は撮れません。役場で写真を撮るエディットする「あ、これが余計だった。ん、あ、いい」と連呼。「よし、次こそは…」と思つてますが写真は奥が深いです。しかし「広報ふだい」の主役は村民の皆さんです。これからは皆さん登場していただきます。

広報担当にこつて、発行直後の電話ほど怖いものはありません。「はい、広報関係の森田です」「名前が間違つてたつてよ」。そんなことがないよう、紙面がある程度まとまつたら、文字に間違いがないか「校正」しているつもりなんですが…。皆さん、毎号、毎号すみません。

校正を終えると2日後には、印刷屋さんから「広報ふだい」が出来上がつてきます。現在1550部を印刷し、村内に配布し、村出身者や他市町村、報道関係などにも約200部送っています。

配布の際は、行政連絡員さんや班長さんにはいつもご苦労をかけています。ありがとうごさいます。



「表情がよくて、動きがあって、一目で何かが分かる写真は…」

【広報の歩み】

30年12月	【昭和】 「広報普代」のタイトルで、タブロイド判（2ページ）で創刊。22号まで発行して休刊） 6年余りの休刊を経て、タイトルを「広報ふだい」と改め、B5判6ページで再刊。 県広報コンクール・写真3位
41年2月	県広報コンクール・写真3位
42年10月	県広報コンクール・写真2位
43年7月	県広報コンクール・写真3位
45年9月	100号を迎える
49年3月	県広報コンクール・写真2、3位
54年1月	復刊10周年を記念して増刊号を発行 200号を迎える「広報ふだい」のタイトルデザインを変更
56年9月	発行日を毎月15日に変更
56年12月	23号から226号まで収録した「広報ふだい」縮刷版を刊行。
60年4月	1色刷りを2色刷りに変更
61年1月	県広報コンクール・広報紙2位
62年1月	県広報コンクール・写真3位
元年1月	300号を迎える。第1号発刊から32年
2年4月	県広報コンクール・広報紙3位
3年1月	A4判に変更
4年1月	県広報コンクール・広報紙1位
5年7月	全国広報コンクール・広報紙町部II部1席
7年1月	県広報コンクール・広報紙3位
7年4月	400号迎える。第1号を発刊してから40年
8年1月	県広報コンクール・広報紙3位
9年1月	県広報コンクール・広報紙3位
10年1月	全国広報コンクール・広報紙町部II部3席
11年1月	県広報コンクール・広報紙2位
13年1月	全国広報コンクール・広報紙町部II部2席
13年4月	県広報コンクール・広報紙2位
16年1月	全国広報コンクール・広報紙町部II部2席
16年8月	2色刷りをオールカラーに。
18年1月	県広報コンクール・組写真3位。500号を迎える。第1号発刊から49年
18年4月	県広報コンクール・広報紙3位、1枚写真3位、組写真1・3位
19年1月	全国広報コンクール・組写真4席。発行日を毎月第3木曜に変更
19年4月	県広報コンクール・広報紙1位、1枚写真1位、組写真2位
20年1月	全国広報コンクール・広報紙3席、1枚写真特選、オールカラーを1色刷りに
20年4月	県広報コンクール・1枚写真3位
20年8月	「広報ふだい」と「議会だより」を統合
21年1月	1色刷りから一部カラーページを挿入
21年4月	県広報コンクール・広報紙3位、組写真2位
22年1月	県広報コンクール・広報紙3位、1枚写真2位、組写真3位
23年1月	県広報コンクール・1枚写真3位
24年12月	「議会だより」が単独発行に
24年1月	県広報コンクール・組写真1位
24年4月	全国広報コンクール・組写真特選
24年6月	600号を迎える。第1号発刊から57年

昭和30年に創刊

村で初めて広報が創刊されたのは昭和30年12月。（左写真は第1号をコピーしたもの）「広報普代」のタイトルでタブロイド判2ページでした。この年は、村が陸中海岸国立公園に指定された年でもありました。年度半ばで予算もなく、村内各商店の寄付で発行されました。

その後、22号（昭和32年8月）まで発行して休刊。6年8カ月の休刊期間がありましたが、昭和39年4月、タイトルを「広報ふだい」と改めて再スタートしました。判もB5判に変え、発行日は毎月20日でした。これ以来、現在まで毎月発行されています。



去年、役場庁舎内で見つかった「広報普代」第1号。A3判にコピーしたものでしたが、これまでもないものとされていきました。トップには故村幸得村長が発刊にあいさつを寄せています

経費削減で一色刷りも

43年7月から発行日を毎月10日に変更。54年1月、200号を迎えるとともに「広報ふだい」のタイトルデザインを変更しました。
56年9月には、発行日を10日から15日に。「広報ふだい」縮刷版は、56年12月に発行。創刊から22号まで保存されていないため、23号から226号までを収録しました。しかし、保存されていないとされていた創刊号から22号までをA3判にコピーしたものが役場庁舎内で発見されました。（上写真）

64年4月からは一色刷りにし、平成13年の8月からはオールカラーの印刷になりました。しかし19年4月から行財政改革の一環で経費削減のため1色刷りになりました。20年4月には議会だよりを統合。23年12月には議会だよりは単独発行に戻りました。また、県、全国の広報コンクールでは輝かしい実績も残っています。

【歴代の広報担当者】

（敬称略）

- ①熊谷儀一（故人Ⅱ昭和30年12月〜32年8月）
- ②岩沢義雄（故人Ⅱ昭和30年12月〜32年8月）
- ③釜谷壽人（昭和39年4月〜50年5月）
- ④野崎貞信（昭和43年2月〜46年8月）
- ⑤大村耕一（昭和46年10月〜48年12月）
- ⑥宇部由明（昭和49年1月〜50年5月）
- ⑦深渡定幸（昭和50年6月〜58年5月）
- ⑧上野一雄（昭和58年6月〜平成5年3月）
- ⑨深渡理隆（平成5年4月〜平成8年3月）
- ⑩三船雄三（平成8年4月〜同13年3月）
- ⑪金子美枝（平成13年4月〜16年3月）
- ⑫森田安彦（平成16年4月〜現在）

■インタビュー



昭和39年4月から11年間担当した

釜谷 壽人さん

（69・太田名部）

限られた紙面で試行錯誤

休刊した後の昭和39年4月号の復刊から手がけました。冊子の村勢要覧を作ったことと写真も好きだったので広報担当になったのかなと思います。何も知識がなかったので、レベルの高い近隣市町村の広報紙を参考に毎月試行錯誤の繰り返し。とにかく紙面に文字を埋めるのが大変でした。

当時は限られた紙面に、住民の名前や写真をできるだけ多く掲載するように私は心掛けました。国道45号の改良工事や国鉄久慈線の工事、くろさき荘のオープンなど観光ブームの中、皆さんに情報をお知らせするという意味で、広報紙は重要な役割だったのかなと思っています。



復刊第1号の昭和39年4月号。和村村長の再刊の言葉、昭和39年度の予算8,142万円の内容、村章の決定などが掲載されています

初の全国入選を果たした平成3年11月号。村づくりを真剣に考える青年団の新たな挑戦を特集しました



平成8年11月号。アルミ缶を集めて車いすに替えようとする鳥茂渡小の子どもたちの活動を集めた。子どもたちの頑張りに胸を打たれ、県内外から応援する声が届きました



普代小児童作
「アース君」

ご意見 ありがとうございます

もっと もっと親しまれる広報紙を目指します！

皆さん、やりました!! 組写真で日本一!!

全国広報コンクール



太田名部漁港を襲う津波の瞬間を撮影した村漁協の太田則彦さん(右)と編集した広報係の森田

自治体の優れた広報紙などを表彰する日本広報協会主催の平成24年度全国広報コンクールの総合審査会が4月19日開かれ、「広報ふだい」が「写真・組写真の部」で最高賞の特選に選ばれ日本一になりました。

入選したのは昨年3月号(3月28日発行)の津波特集号4-5号。漁港施設をのみ込む津波や、海底が見えるほどの引き波など6枚を掲載しました。講評では情報が途絶えた村民に被災状況を早く伝えようと、3月中に発行した点が評価されました。また同組写真は住民目線での広報紙作りが評価され読売新聞社賞にも輝きました。表彰式は6月29日に茨城県水戸市で開かれる全国広報研究大会の席上で行われます。

100年たったら古文書

「広報紙は100年たったらそのまの古文書になる」。広報担当になりたてのころ先輩に言われました。それは歴史家しか読めない難しい古文書ではなく、誰もが簡単に読めるその時代時代にどんなことがあり、どんな思いで生活し、何に向かって生きようとしてきたのか、そこに住む人たちの息遣いが伝わってくるような古文書です。それは先輩たちと村民の皆さんがこれまでつないできた「広報ふだい」の原点だと私は思っています。

「おもしろい広報作ってよ」。取材先でよく言われました。「よっしゃ、やってみるか」。私は自分の中の新しい扉を開け、広報にのめり込んでいきました。広報の世界は大きな壁だらけでしたが、努力をすれば評価してくれ、未熟な私を応援してくれる村民の皆さんがいました。一緒に笑ったり、泣いたりもしました。つらいこともたくさんありましたが、うれしいことの方がはるかに上回わり、今までにない達成感も味わいました。

皆さん、これまでありがとうございます。そして、これからもずっと、皆さんと一緒に歩いていく「広報ふだい」でありたいと思います。(広報係・森田安彦)



左から松葉茂輝さん(42・旭日区)、中田高行さん(36・力持)

若い漁師の声を載せて

震災後の広報は浜のことがよく載っているの、特に見るようになりました。今年1年は、若い漁師が浜のことを語るコーナーがあればいいですね。いろんな意見を言い合って、みんなで次のことを考える機会があってもいいと思います。

連休明けに「すき昆布」漁が始まり今、真っ最中です。頭も体もいっぱいですよ。何か思いついたら後で言います。(松葉さん)

最初に、飲酒運転で誰か捕まっていたか見ますね。広報は毎月必ず見ます。浜の話題が載っていれば釘付けになって見えています。

漁師に対する震災の新しい支援策がでたら、いち早く広報で教えてください。お願いしますよ！(中田さん)

コンブ漁ご苦労さまです。工作中に自慢のすき昆布を持って撮影させていただき、ありがとうございます。体力を付けながら乗り切ってください。(広報係)



米田昭子さん(70・白井)

600号、おめでとう！

すごーい。すごーいねえ。月1回の発行にすると50年ですよ。これまでに何千人の方々が、この広報に関わってくれたのでしょうか…。広報担当者も第1号から数えると今の森田さんは何代目かな？

取材に応じてくださった方々、その裏方の方々、本当にたくさんの方々のおかげで600号に至ったことは「おめでとう」と「ありがとう」の言葉しかありません。

この広報紙は村の歴史を語る貴重な宝と私は思っています。毎月届くのを楽しみにこれからも待ち望んでいます。この広報紙は村外、県外にも配られますので、苦言を申しますと、誤字脱字がたまにありますので、配意してほしいですね。

本当にすみません。担当した8年分がいつかは縮刷版になると思います。が、間違った部分をどう訂正したらいいか今から悩んでいます。(広報係)



左から中山弘喜君(13・緑区)、太田拓希君(14・堀内)、煤賀琢美君(14・堀内机)

活躍したら表紙に載せて

人口がいつ3,000人を切るか見えています。あと、ときどきお兄ちゃんたちが6年生のときに作った普代の「アース君」(紙面右上)が出てくると、お母さんと一緒に喜んでます。(中山君)

広報が届くと、まず学校行事とかで俺が載っているかどうか確認します。その後、マイフレンドのコーナーを見ます。村長さんのところは大人の人が見ると思うので、あまり見ません。すみません。これからもおもしろい広報を楽しみにしています。(太田君)

野球部が活躍したら、おととの普代オーシャンズ(スポ少野球チーム)のように表紙に載せてください！カレンダーの写真と編集後記も楽しみです。(煤賀君)

部活動(野球)頑張ってください。県で3位だったら表紙OKですよ。フレー、フレー、普中！(広報係)



榎谷美祈さん(14・茂市)

「作品展」をまたやって

去年の3月の津波の写真とか4月の卒入学式のような表紙の写真のように内容がすぐ分かる写真が好きです。広報が届くと友達に載っていないか確かめます。知っている人が載っていると楽しいですよ。

「ぼくとわたしの作品展」(震災後からお休みしています)が好きだったので、またやってください。(美祈さん)

全部は見えてませんが、子どもたちのことが載っていると目がいきますね。津波が来たとは聞いていたが、去年の3月号のようにあやうく広報に載った写真を見るとすごく衝撃的でした。(美祈さんのお母さんの由香さん、39・茂市)

山間部は津波の心配がないから実感がないんですね。とんでもない津波でした。悲惨な状況になった漁港の写真を撮っていましたが、つらかったです。来月号は中学校や小学校の運動会が掲載されます。榎谷家は載るかな？(広報係)

●そのほかの感想、ご意見

▶病院ど買い物以外どごさもぬげないため、広報が一月(4月)のワカメ漁の写真きれいだったなあ。(石花繁の高校に行っているの、広報は唯一の村のことを知ってだごどー)って毎月家族みんなで見てますよー。カ前広報ふだいで特集した「ふだいまつり」の紙面を拡大縮刷版も出してほしいですね。(普代小・小山厚校長) ▶津波の様子も広報で詳しく分か

りして楽しみにしています。(栗原リエさん、69・白井) ▶先月の楽しみですー。届けばすぐに見んがぁ。読みやすく見やすく、今のままで十分十分！(太田シオさん、80・太田名部) ▶先美さん、51・堀内) ▶私が好きなのは写真。インパクトがあってリアル。津波のときのレイアウトも見応えがありました。久慈手段です。これからも楽しみにしています。(深渡美穂さん、17・上区) ▶「こういうごどがあったんだあ」「誰それさんが、写ラーのときは楽しいですね。(松葉智子さん、41・旭日区) ▶去年4年生の社会科の授業で「郷土に伝わる願い」をテーマに、以して授業をしました。広報ふだいは、子どもたちはもちろん、先生たちも村を学ぶ貴重な資料になります。ぜひ、平成6年以降の ▶毎月楽しみにしています。難しい言葉が出てくればとばしたりしますが、子どもたちののがきにも、こまめにコメントを書いたりしました。これからも楽しみにしています。(栗原リエさん、69・白井)

たくさんの方々の貴重な「声」をありがとうございました。これを励みに頑張ります。(広報係)

緑の村に歓声響く

こどもまつりに千人

ゴールデンウィーク恒例の「緑の村」こどもまつり（実行委、村など主催）が5月5日、鳥居地区の「緑の村広場」で行われ、村内外から家族連れなど約千人が来場しました。雨のため4日は中止になりましたが、天候が回復した5日の会場には、ピニール製の滑り台



巨大遊具に子どもたちも大はしゃぎ

や動物ふれあいコーナーなどが設けられたほか、ジャンケン大会や風船早割大会などのイベントが繰り広げられ、1日子どもたちの歓声が響いていました。

盛り上がった風船早割大会

午後からはNHKいわてみんなのうたでお馴染みの岩手育ちのウクレレ弾き語りシンガー・ツジヤマガクさんのコンサートも開かれ、澄み切った青空にさわやかな歌声が響いていました。夫の実家に帰って来た際に訪れたという川崎市の駒木麻衣子さん(27)、彩乃さん(9)、夏音さん(7)、玲奈さん(4)親子は「子どもたちはポニーに乗って楽しみました。格安ですね」とかき氷を食べながら一休みしていました。



観光ツアー客を迫力の太鼓でもてなすふだい荒磯太鼓のメンバー

修学旅行の普代中生

古里の「先輩」から熱い激励

普代中学校(小橋正嗣校長、生徒80人)の3年生12人は4月19日、修学旅行で宿泊している東京都中央区のホテルで、同村出身の首都圏在住者で組織する「ふるさと普代会」(中野健治会長)と交流し、古里の先輩たち10人から熱い激励を受けました。

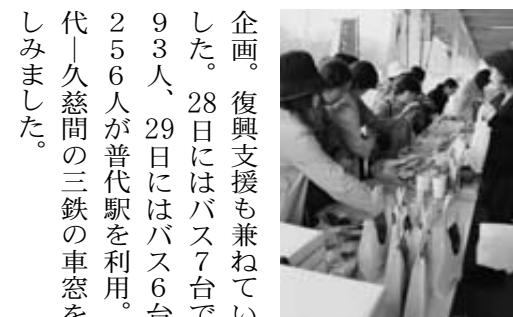
を振り返りながら、「時間を守り、与えられたことを毎日しっかりとやってください」などと人生訓を生徒に話しました。生徒は先輩たちに地元の塩蔵ワカメを贈り、同会からは3年生27人分の図書券が生徒たちに贈られました。砂合亮太君は「貴重な経験ができました。普代出身の人が東京で頑張っているんだなあと思いました」と話していました。



修学旅行先で貴重な体験談を聞く普代中生(東京=普代中提供)

花見と復興支援ツアーに549人 迫力太鼓で熱烈歓迎!

読売旅行(青森営業所など主催)のツアーが4月28・29の両日行われ、2日間で549人が普代駅に立ち寄り、ふだい荒磯太鼓の歓迎を受けた。アンテナショップで村自慢の特産品を買い求めています。



特産品売り場も大盛況

同ツアーは「蘇(よみがえ)った三陸鉄道貸切列車と東北随一の桜の名所」と名打ったツアーで、青森県から北上展勝地の花見企画。復興支援も兼ねていました。28日にはバス7台で293人、29日にはバス6台で256人が普代駅を利用。普代―久慈間の三鉄の車窓を楽しみました。

前川漁協組合長らが地鎮祭 種苗生産施設の工事着手



工事の無事を祈る前川漁協組合長

東日本大震災で流された普代村漁協(前川健吾組合長)の養殖コンブ種苗生産・採苗施設の復旧工事地鎮祭が5月1日、太田名部の大沢地区で行われました。前川組合長、同漁協理事、桎屋伸夫村長、大上浩史村議長ら関係者約30人が出席し、神事で工事の安全を祈りました。

新しい施設は、鉄骨平屋建てで、床面積は約350平方メートル。震災前と同じ場所に、約2メートル盛り土をして再建します。同施設は今年9月までに完成の見込みで、総事業費は約1億400万円を投じます。村漁協では津波で施設が被災したため、今年収穫するコンブの種苗は宮古市田老のものを利用。新施設の「種苗生産能力」は養殖施設約千台分あり、本年度設置を見込む700台分は賄える見込みです。前川組合長は「生産基盤を整備し、自前で種苗ができるよう頑張っていきたい」と話していました。

生活の困りごと手助けします!

シルバー人材センターが始動

皆さんの日常生活のちよつとした困りごとを手助けする「普代村シルバー人材センター」(米田實会長)が3月25日設立し、4月1日から活動を開始しています。

現在の会員は60歳以上の男女28人。一般の村民から請け負う仕事は、▽草取り▽大工仕事▽引越のしの手伝い▽話し相手などさまざまです。1日7時間の家事援助は4500円。一般的な仕事は1時間当たり650円程度ですが、職種によって金額が変わります。材料費は実費で、活動時間は原則として平日午前9時から午後5時までです。4月16日には、自然休養村管理センターで高齢者の人から依頼のあった障子張りの仕事を登録者2人が行っていました。

青少年育成委員 佐藤勲さん再任



4月1日付けで緑区の佐藤勲さん(76)が、岩手県青少年育成委員に再任されました。

任期は平成26年3月31日まで

の2年間です。

固定資産委員に 大村さんを選任

4月30日で任期が満了した村固定資産評価審査委員会委員の大村政義さん(58=太田名部)が選任、同意されました。



任期は平成27年4月30日までの3年間です。



障子張りをするセンター会員

■問い合わせ先: 普代村シルバー人材センター事務(普代村社会福祉協議会内) 担当大村(☎35-2100)

三船隆久団長



2年5カ月以上無火災が続いています。予防意識を啓発しさらに継続するよう努力をお願いします。「自分たちの住んでいる村は、自分たちの手で守るんだ」という強い気持ちで活動してほしいです。

東日本大震災から1年以上が経過しましたが、つい昨日のような気がします。県内では97名の消防関係者が尊い命を奪われました。改めてご冥福をお祈りいたします。

その後、消防団員らタンク車など10台が村中心部を分列行進。一斉放水訓練では役場裏の普代川で本番さながらの訓練を展開しました。

皆で無火災の継続を

三船団長訓示

統監 仲屋伸



中隊やポンプ操法 多彩な訓練披露

平成24年度の村消防団(三船隆久団長)の特別点検が4月22日、普代中グラウンドなどで行われ、皆が心一つに熱い訓練を展開しました。

特別点検には消防団員80人、婦人消防協力隊(九種保子隊長)50人、消防関係者ら約250人が参加。統監の柵屋伸夫村長は、「安全安心の村づくりに一丸となって取り組んでほしい」と訓示しました。

続いて、消防団員らの功勞者表彰や平成23年度の全国や県などでの表彰披露も行われました。訓練では団員らは指揮官の号令に合わせ、小・中隊訓練、ポンプ操法訓練、ラッパ吹奏を披露。婦人消防協力隊による自動体外式除細動器(AED)を使った心肺蘇生法など訓練の成果を披露しました。



中心街を通る消防車両



AEDを使った心肺蘇生法訓練



一糸乱れぬ中隊訓練



早く、そして集中してのポンプ操法訓練



少年消防クラブの初期消火訓練



機械器具点検



1分1秒でも早く



「火遊びしません良い子ども」



音の司令塔ラッパ吹奏訓練

必ず来る災害に備えー 村消防団特別点検

心一つに熱い訓練



防火意識の向上のため中心街を分列行進する消防団員ら

表彰・披露された方々

◆村長表彰▽功勞章 団員・太田彰夫② 班長・中田敏喜④ 部長・畠山富雄⑤ 功績章 団員・上神田敏二① 同・中村英伸① 同・長澤邦寿① 同・三田地勇治① 同・中田博信④▽精進章 団員・三船洋介① 同・中上信彦② 同・大上英人③ 同・畠山政則⑤▽勲績章 35年勲績：分団長・山道國武④ 同・赤坂敏也④ 部長・山崎確巳⑥ 30年勲績：班長・梶谷幸正⑥ 25年勲績：副分団長・森田幸一① 分団長・嘉村孝喜⑤ 副分団長・金子一好⑤ 団員・金子修一⑤ 同・金子義久⑥ 20年勲績：班長・太田達也③ 同・太田勝也③ 同・下上彦一③ 団員・太田純一③ 15年勲績：部長・新屋正勝② 班長・日向文彦② 団員・和久憲雅② 同・太田彰夫② 同・日向典義② 同・松家健② 同・熊合勝明③ 同・大上孝三③ 同・砂合広喜③ 部長・畠山富雄⑤ 団員・畠山孝昭⑤ 同・畠山博⑤ 10年勲績：団員・中上信彦② 同・中花隆幸④ 同・畠山政則⑤ 同・森子義一⑤ 5年勲績：団員・下坪勝利⑤ 同・金子太⑤▽無火災竿頭綬 第6分団▽感謝状(退職消防団員) 小屋敷亮二郎(団本部・団長 深渡優(団員①) 太田浩二(団員③) 小正路忠男(団員⑤)▽同(退職

協力隊員 野田口子ヤ(副隊長・隊本部) 太田美智(班長・堀内班) 松家貞子(副班長・堀内班) 田家ヤス子(隊員・堀内班) 新屋加津(同) 中居マツ子(副班長・太田名部班) 小屋敷和子(同・鳥居班) ◆消防団長表彰▽功勞章 隊員・藤嶋幸子(普代班) 副班長・須田千賀子(白井班)▽功績章 副班長・太田幸子(太田名部班)▽勲績章 35年勲績：班長・照井トミ(隊本部) 25年勲績：班長・佐々木貴美子(黒崎班) 20年勲績：班長・小丹恵美子(堀内班) 隊員・太田明子(同) 15年勲績：副隊長・前川佐栄子(隊本部) 隊員・大下イネ(堀内班) 同・須田政子(白井班) 同・中花ユミ子(同) 副班長・駒木スミ子(黒崎班) 10年勲績：副班長・太田幸子(太田名部班) 隊員・合砂睦枝(同) 同・太田美江子(同)▽機械器具優良分団表彰 第6分団 ◆岩手県消防協会



35年勲績で表彰された山道國武団本部

※○内の数字は分団名、㊦は団本部、所属・階級は24年3月31日現在 (敬称略)

久慈地区支部長表彰▽竿頭綬 第6分団(分団長・落合正司)▽功勞章 班長・正路正敏①▽功績章 部長・新屋正勝② 班長・下上彦一③ 同・藤島重信④ ◆日本消防協会長表彰披露▽功績章 副団長・宮下俊光④ ◆消防庁長官表彰披露▽消防団車両等支援消防庁長官感謝状 普代村消防団(団長・小屋敷亮二郎)▽永年勲績功勞章 分団長・落合吉男④ ◆岩手県知事表彰披露▽功勞竿頭綬 普代村消防団(団長・小屋敷亮二郎)▽無火災竿頭綬 普代村消防団(団長・小屋敷亮二郎)▽功績章 班長・梶谷幸正⑥ ◆岩手県消防協会総裁(会長)表彰披露▽功績章 副分団長・小屋敷健①▽婦人消防協力隊員表彰 班長・佐々木貴美子(黒崎班) ◆岩手県婦人消防連絡協議会長表彰披露▽地区役員功勞章 班長・九種保子④▽市町村役員功勞章 班長・太田稲子(太田名部班)▽隊員功勞章 班長・長澤ヨシノ(普代班) ◆「消防団員」感謝のつどい総務大臣表彰披露 普代村消防団(団長・小屋敷亮二郎) 同表彰は、東日本大震災で昼夜を問わず身を挺して災害対応に当たったほか、消防機関による迅速かつ広域的な応援により全力を挙げて災害活動に従事した機関に対して表彰されたもの

おとうさん
おかあさん
あのね... 300



はやとくん(左)とりくくん
(はまゆり子ども園さくら組)

●さかうえはやとくん(坂上隼大・6歳)から父・栄吉さん、母・千枝さんへ

おとうさんは、いつもお風呂でほくをたくもちあげてくれるのがたのしいし、ちからもちでかっこいいな。おやすみのときは、いっしょにサッカーをしてくれてありがとう!

おかあさんは、おやすみのときにキャッチボールをしてくれるね。いつもつくってくれるオムライスがだいすきだよ! かみをむすぶときのおかあさん、なんだかかわいいな。

●まえかわりくくん(前川利玖・5歳)から父・宏司さん、母・宏子さんへ

パパは、ありがみでなんでもおれるんだよ。ウマになってせなかにのせてくれたり、すもうをとってくれたり、いつもたくさんあそんでくれてありがとう!

ママのつくった、にくじゃががおいしくてだいすき! いつもきょうだい3にんのおせわをがんばっているね。これからも、いっぱいありようりのおてつだいをするからね!

いまちまたでおいしいせしよろかい



大上食堂
『磯ラーメン』800円



澄ちゃんオススメのメニューです!

※そのほかのメニュー
メカプラーメン500円、わかめラーメン500円
めかぶとろろ丼600円、うに丼700円、かつ丼600円



「またこうして開店でできてうれしいです」と話す店主の大上澄子さん

普代自慢の味第2弾は、太田名部市場近くにある大上食堂さんです。役場から県道44号を車で南下。約3分で大上さんの仮設店舗に到着し、早速お目当ての品を注文。約5分後には海の幸が盛りだくさんの「磯ラーメン」が登場しました。

「もう店をやめようと思いましたが、夫に『もう一度やってみたら』と言われ、開店を決心しました。食堂は今年3月2日に仮設店舗で開店しました。これまで本当に皆さんに支えてもらいました」と大上さん。磯ラーメンにはそんな感謝の気持ちも込められていたのです。



☆営業時間：9:00~17:00
☆場所：〒028-8335 岩手県下閉伊郡普代村6-29-2
☆問い合わせ：☎0194-35-2721
☆お買い得情報...とりあえず仮設店舗での4年間、なんとか頑張ってみようと思います。皆さん気軽にお茶飲みにもいらしてください。お待ちしております。

今年4月に普代小に赴任した本田裕美先生。4年生22人の担任です。「エモラルドグリーン海がきれい」と村の印象を話します。前任校は紫波町の日詰小で全校生徒は450人。「普代の子ともたちは元気で、あいさつがいいし、1年生から6年生までみんなが友達っていう感じで新鮮です」と話します。

趣味はゴムボートでの川下り。その後の飲み会も趣味と同じくらい好きといいます。久慈市から通勤する本田先生。4月中は慣れない土地での車の運転に疲れたそう。休みの日は寝ていたとか。先生になつたきつかけを尋ねると、「実は小学校のころいじめを我慢していたら、一人だけ気付いてくれた先生がいたんです。そのとき先生になろうという気持ち芽生えました。そして講師時代、九九のできない一人の子に付きつきりて教えていたら、ぱつとできるようになってニコッとしました。そのとき私は、これから伸びていく子どもた

ちと一緒に過ごしたい、教師をしたいと強く思いました」と本田先生。そして「お互いに思いやりや仲間意識を持って何かに向かって突き進んでほしいです」と普代小の子どもたちに願いを込めます。...Q&A...
—時間とお金があったらしてみたいことは。
パワースポットがある鹿児島島の屋久島に行ってみたいですね。ちなみに登山靴は去年買ってあります。
—次号には、誰を紹介してくれますか。
普代小の坂上みさきさんです。

『元氣なふだいっ子が好きです』



友達の友達は...みんな友達。そんな思いを込めて自分の友人知人をリレーで紹介するマイフレンドコーナー。今月は普代小に勤務する本田裕美さん(31)です。



「広報に出たい人~!」と言ったらクラス全員になりました。本田先生は後ろから2列目中央の紺色のジャージの人です。分かりますか?



『エジソン』
吉田 健二

「火が燃えるのはなぜ?」「風が吹くのはなぜ?」疑問にひとつずつ自分で答えを見つけていった少年は、やがて「世紀の天才発明家」と呼ばれるように...。エジソンの人生をまんがで紹介。解説「ためになる学習資料室」も掲載。



『限界集落株式会社』
黒野 伸一
「起業のためにIT企業を辞めた多岐川優が、人生の休息で訪れた故郷は、限界集落といわれる過疎・高齢化のため共同生活の維持が困難な土地。優は、現代の地方集落が抱える課題や抵抗勢力と格闘し限界集落を再生しようとするのだが...。小学館



『ペネロペ ひとりてふくをきる』
アン・グッドマン

ペネロペは一人で朝起きて、服を着るのに挑戦! パンツ、シャツ、ズボン、靴下...。さあ、ちゃんと着れるかな? 上手に着れたらパパとママに見せにいこうつもり!

本はともだち

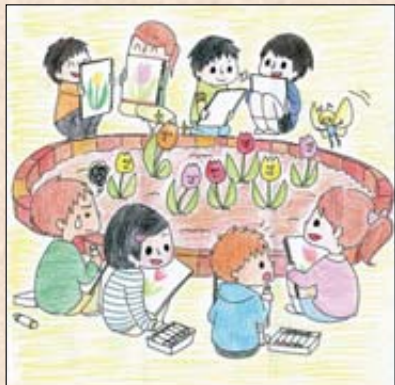
図書館 行こう!

★開室時間:午前9時~午後5時
★休室日:毎週月曜日
★電話・ファックス:3611044

岩崎書店

広報クイズ

今月は間違い探しクイズです。下の2つの絵に違うところが3カ所あります。あ〜けのうち、間違っている3カ所を探してみてください。



元絵



間違い探し用

難易度・★★★★★

※イラスト・金子望さん（紫波町在住＝茂市出身）
※注 色の濃さ、「あ〜け」の文字の下に隠れている部分は間違いに含みません。

【応募方法】

はがきに答え、郵便番号、住所（地区名）、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。はがきに広報ふだいや今月号の感想、ご意見、イラストなど書いてください。紙上で紹介します。

◎あて先…〒028-8392

普代村9-13-2 普代村役場 広報クイズ係

◎締め切り…6月11日(月) 当日消印有効

◎4月号の答え…①-A ②-B

◎応募総数…6通で6人が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。

◎当選者…①中田悠真くん(力持・3歳)
②仲村威慧くん(京都府京都市・11歳)
③谷地真鈴さん(力持・11歳) ④仲村妃織さん(京都府京都市・12歳) ⑤仲村妃礼さん(京都府京都市・14歳)

みんなのイラスト展



地面の中で強そう!

谷地一星くん(力持・7歳)



カラフルなスポンジボブ!

仲村妃織さん(京都府京都市・12歳)



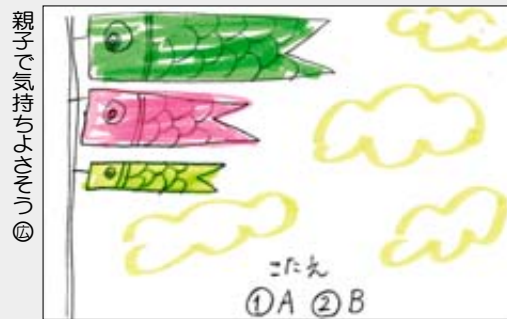
ムックウまいなあ

谷地真鈴さん(力持・11歳)



キティちゃん、かわいいね!

仲村妃礼さん(京都府京都市・14歳)



親子で気持ちいい

中田悠真くん(力持・3歳)



野球好きなんだね

仲村威慧くん(京都府京都市・11歳)

声・お便り & 応援メッセージ



メールやお便りなど皆さまから寄せられた村への温かいメッセージを紹介します。「広報ふだい」を読んだ感想などもお寄せください。

いつも広報ふだいを楽しみに拝見させていただきます。村の様子に取るように分かります。いろいろ大変なことがあると思いますが、今後も生き生きとした記事を期待し

ております。熊谷久さん(盛岡市在住) 沢向出身

これからも、岩手の端の小さな村の頑張りを伝えてくれるように頑張ります。

広報係

広

報4月号を読ませていただきました。

卒業式入学式の子どものたちの明るい表情、養殖ワカメ漁の記事にたくさんの方の元気をいただきました。ありがとうございます。

記事にもありました、サカモトミュージックスクールの「スクール創立43周年記念公演・東日本大震災復興支援チャリティーコンサート」には、私も普代出身の同級生2人とともに行ってまいりました。スクールのレベルの高い演奏の数々に圧倒されるとともに、ファイナールのスクール生とコーラスライオット風



復興支援チャリティーコンサートの模様(東京=サカモトミュージックスクール提供)

よる「絆・三部作」の合唱に感動いたしました。スクール生の皆さまとコーラスライオット風の皆さまが

東京で一緒の舞台に! 興奮を覚えずにはいられませんでしたが、実現させてくださったスクールの、普代への温かい心遣いには感謝の気持ちでいっぱいです。

津波という悲しい出来事でも多くのものを失ったことは事実ですが、決して失ったものばかりではなかったんですね。「たくさんの方々の温かい絆に支えられている」という想いは大きな励みになり、歌詞にもある「前に向かって歩いていこう」への原動力になってくれるものと信じてい

て計画し、昨年巡礼した愛媛県と香川県で全108カ所(88カ所と別格霊場20カ所)を歩き通すことができました。(中略) 今度は震災の地を訪ねなければと思うようになり、青森県の北の端、東通村を出発地として千葉県の犬吠岬までの海岸線市町村を行脚(自家用車)することに決めたものです。

この行動の骨子としては、現状を素直に直視する、観るのではなく、診る、看る。各市町村の役所、役場は訪ねる。(50数市町になる予定) 通りすがりで、私の手が必要と思われたなら、こちらから声を

ます。

小野真美子さん(千葉県船橋市在住) 旭日区出身

そうですね。失ったものばかりではなく、改めて気付かされたことや支え合うことの大切さ、本当の幸せとは…など、多くのことを皆が考えたのではないのでしょうか。たくさんの方とつながっていることを励みに前に進みたいと思います。

広報係

二

の度の震災が時を 変え、形を変えて 報道されることに心を痛め、

ただただ涙することしかできない自分が情けなくなっておりました。震災発生以降、私にできることは義援金を納めるくらいのことしかできず、それを納めたら納めたで、より自分の力の無さが浮き彫りになってしまい、心のやり場を失い、居た堪れない思いに駆られたものでした。

そんな私にもかねてからの願いがありました。それは四国の巡礼(お遍路)をするというもので、四国の各県を四回に区切り、結願させるとし

この手紙は、そっと届けることになってしまったと思いますが、私のほんの僅かな意をご理解いただけますようお願い申し上げます。そして、未筆ながら、確かな復興を願い、心からのお見舞いにさせていただきます。

小島国男さん(愛知県在住) 自分のことのように被災地を思うお気持ちは、とても有り難く思います。知らない方の思いに支えられて復興は進んでいくのだと感じます。

広報係

お誕生おめでとう（1人）

石花 心優（巧也・由惟） 上区

ご結婚おめでとう（2組）

川向 正人） 旭日区
太田代真紀子） 遠野市
川口 貢） 旭日区
齋藤美智子） 田野畑村

お悔やみ申し上げます（3人）

中居トミエ 上区 89歳
齊藤 繁 太田名部 65歳
佐藤 光夫 萩牛 79歳

交通安全 対策情報

- 村内の交通事故《4月》
人身事故 0件（1件）
物損事故 3件（13件）
※（）内は1月からの累計
飲酒運転検挙者 0人（2人）
※（）内は8月からの累計
■救急車の出動回数《4月》8回
■飲酒運転検挙状況（県交通安全対策協議会調べ）
県内33市町村中ワースト順位…2位
（3月31日現在）
県内の検挙者数《3月》50人

くらしの情報

「はい、普代村役場です」▷市外局番0194<

総務課【政策推進室】 ☎35-2111
建設水産課【震災復興室】 ☎35-2116
税務出納課（税務部門） ☎35-2112
議会事務局 ☎35-2117
住民福祉課 ☎35-2113
教委事務局 ☎35-2711
農林商工課・農業委員会 ☎35-2115
保健センター ☎35-2211

ご存じですか？

6/1、人権相談、消費者相談

6月1日、役場で人権に関する無料相談所を開きます。職場や学校でのいじめ、子どもや高齢者への虐待、家庭内暴力、相続・土地建物の問題、税金・借金問題、近隣とのトラブルなど、広い分野で皆さんの相談に応じます。

相談員は法務大臣から委嘱された和村淑子さん、釜谷壽人さん、野崎貞信さんの3人です。相談は無料で、秘密は堅く守られます。

また、同日時に久慈地区広域消費者センターの出張相談会も開きます。

▶日時…6月1日(金) 10:00~15:00

▶場所…役場2階会議室

▶問い合わせ先…①人権相談・役場住民福祉課（☎35-2113）②消費生活センター出張相談会・久慈広域消費生活センター（☎0194-54-8004）

5/31は自動車税の納期限

自動車税は4月1日現在自動車の所有者が納める県税です。納税通知書は4月末に皆さんのお宅にお届けしましたので、納期限までに忘れずに納めてください。

▶問い合わせ先…県北広域振興局県税室（☎0194-53-4986）

鶴鳥神社例大祭

5月28日（旧4月8日）

久慈消防署で救命講習会

久慈消防署では、住民の応急手当に関する知識や技術の普及を目的に、普通救命講習会を次の通り開きます。受講料は無料です。

▶日時…6月10日(日) 9:00~12:00

▶場所…久慈市防災センター視聴覚研修会

▶定員…30人程度（中学生以上）

▶申し込み期間…5月14日(月)~6月8日(金) ※受講申請書は久慈消防署または各分署にあります。

▶問い合わせ先…久慈消防署警防救急係（☎0194-53-0119）

お願いいたします

現地調査などにご協力を！

県では絶滅にひんしている野生動物の現状を明らかにし、その保護対策の基礎資料となっている「いわてレッドデータブック」（写真）の改訂するため、現地調査を行っています。

調査員は「岩手県学術調査員」と記載した腕章などを付けていますので、土地の立ち入りなどの際には皆さんのご協力をお願いします。

▶問い合わせ先…県環境生活部自然保護課（☎019-629-5371）



募集しています！

県で働く45歳未満の獣医師

県では、平成25年4月1日（予定）から県の機関で働く獣医師を次の通り募集します。

▶応募資格…平成24年4月1日で45歳未満で、獣医師法の規定による獣医師免許を有する人、または取得する見込みの人

▶募集期間…平成24年6月29日(金)消印有効

▶1次試験日・場所…7月8日(日)・県庁12階特別会議室 教養試験と論文試験

申し込み方法など、詳しくは県総務部人事局（☎019-629-5071）にお問い合わせください。

くま熊の出没

5月4日早朝、茂市地区の山林で熊と遭遇してけがをする事故が発生しました。山に入るときは、以下のことを心掛けて被害に遭わないように注意してください。

- ①行き先を必ず家族に伝える
②熊よけに鈴やラジオなど音の出るものを身に付ける
③一人ではなく複数で行動する

また、山に出掛ける際は、日帰りでも油断せず、食料、水、灯具を持ち、遭難事故防止にも努めてください。

普代村ふるさと応援基金への寄付状況（4月13日現在）

24年度分 100,000円 累計 8,525,282円

86件（村内32件、県内4件、県外50件）

普代村ふるさと応援寄付の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課（☎0194-35-2111、内線119）までご連絡ください。

税務職員の採用試験

仙台税務局では、バイタリティーあふれる税務職員を次の通り募集しています。国の財政を支える重要な仕事を担う税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか。

▶受験資格…①試験年度の4月1日で高等学校または中等教育学校を卒業した日から起算して3年を経過していない人および、試験年度の3月までに高等学校または中等教育学校を卒業する見込みの人 ②人事院が上記①に掲げる人と同等の資格があると認められる人

▶願書受付期間…①インターネットでの申し込みは、6月26日(火)~7月5日(木) ②郵送・持参は、7月2日(月)~10日(火)

▶受験申し込みの請求先…最寄りの税務署、仙台湾税局人事第二課または人事院東北事務局

▶問い合わせ先…人事院東北事務局（☎022-221-2022）または仙台湾税局人事第二課（☎022-263-1111、内線3236）

クマ用電気柵を貸します！

問 農林商工課（☎35-2115）

困っていたら相談を！

久慈地区法律相談

▶期日…5月30日(水)、6月8日(金)
▶時間…10:30~15:30▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課（☎0194-52-2111）

多重債務者相談

▶期日…5月24日(木)▶時間…9:00~15:00▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課（☎0194-54-8004）

くらしとお金の安心相談会

▶日時…6月12日(火)、26日(火)10:00~16:00▶場所…久慈市役所広域消費生活センター▶問い合わせ先…同センター（☎0194-54-8004）

久慈保健所での相談

エイズ・肝炎ウイルス・性器

クラミジア検査、骨髄バンク登録

▶日時…6月12日(火) ①エイズ・肝炎・性器検査：14:00~16:00、17:00~19:00②骨髄バンク登録（要予約）：14:00~16:00

精神保健福祉相談

▶日時…6月15日(金) 13:30~（要予約）

ひきこもり相談

▶日時…6月21日(木) 14:00~15:30
上3件とも、問い合わせ先は久慈保健所保健課（☎0194-53-4987）

塗装

茂石総業 代表 茂石祐次 ☎35-2933

使いすてコンタクトレンズ販売

今、お使いの、コンタクトレンズのデータをお知らせ下さい。ポイントも付きます。商品券でのご利用もどうぞ!!

度が入った色付のメガネセット 19,950円

普代村中央区 まつば時計店 ☎35-2276

愛車の車検

お気軽にご相談ください。

民間車検だからできる

格安料金、日帰り車検！

新車登録後5年または走行5万*未満のお車に限り！



東北運輸局長指定 民間指定工場 南ナガサワ自動車整備工場 電話 0194-35-2216 FAX 0194-35-2158

●車検料例【諸掛かり込み】

軽乗用車 55,000円~

軽トラック 54,000円~

※その他の車種については、ご相談ください。お車の状態によりご相談させていただく場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
5/27 (仏滅)	28 (大安)	29 (赤口)		31 (友引)	6/1 (先負)	
3 (大安)		6 (友引) ・健康相談(力持・白井)		9 (大安) ・サタデースクール①(9:30~11:30、㊦)		
	11 (先勝) ・健康相談(黒崎・太田名部)	12 (友引)		14 (仏滅)	15 (大安) ・乳がん・子宮がん検診(~16日)	16 (赤口)
17 (先勝)		19 (先負)	20 (大安) ・お誕生教室(受け付け12:00~12:15、㊦)		22 (先勝)	23 (友引) ・サタデースクール②(9:30~11:30、㊦)
24 (先負)	25 (仏滅)	26 (大安)	27 (赤口) ・離乳食教室(受け付け12:00~12:15、㊦)	28 (先勝)	29 (友引)	<ul style="list-style-type: none"> ㊦は保健センター ㊧は北緯40度野球場 ㊨は社会体育館 ㊩は管理センター ㊪はふれあい交流センター ㊫は医科診療所 ㊬は海洋センター



なお、満点カード(500円)は、期限内にご使用下さい。期限を過ぎますと使えなくなりますので、ご注意ください。

◆◆◆ まだ満点でない「ためんびゃあカード」を集約します ◆◆◆

- ◆交換期間：平成24年6月1日(金)～6月30日(土)
但し、23(土)、24(日)、30(土)は交換いたしません。
- ◆交換時間：午前9時～午後5時30分まで(平日のみ対応)
- ◆交換場所：普代商工会(普代村役場 庁舎1F)ほか取次店

予告 6月分のラッキーチャンス当選者を30名に拡大します!!

普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替

沢口畳店

普代村13-12-8 TEL・FAX 0194-35-2561

毎月2日、12日、22日

ポイント2倍デー

(有)まるに ☎35-2201

5/28日(月) 鵜鳥神社 例大祭

おやき、ドーナツ、やき鳥 販売します!!

中央区 三船製菓 ☎35-2020

オフィス用品を 明日くる アスクル

オフィス用品デリバリーサービス! 無料カタログ申込は下記まで

のだ事務機

☎0194-36-1030 FAX0194-35-3016

岩手日報普代販売センター 金子新聞店

味処 ながさわ

各種宴会賜ります。料理、ご予算等ご相談ください。

●営業時間 18:00~23:00 ●定休日 日曜・祭日

普代村中央区 電話 0194-35-2313

高橋薬局 中央区 電話 35-2045 FAX 35-2827

元気の秘密は!ここに有り!!

第2種医薬品 若狭内服液G

大好評 ネットプリント

24時間365日 全国どこからでも注文できます

無料お試しキャンペーン中

<http://www.geocities.jp/hozunasuyai/>

Yahoo!ココにも掲載中です。お得情報発信中!!

iPhoneからもプリントできます! 今すぐアクセス

フジフィルム 純正処理 カトウ写真館 Tel (35)2594 Fax (35)2594

DVD ダビング

大切な思い出を DVDに永久保存!

二人なかよく幼稚園の遠足 一生心に残る名勝負...

いっしょうけんめいがんばった運動会 思い出の旅行...

ビデオテープをDVDに! ベータ・8ミリ・DVCのテープからもOK!

当店通常価格1枚120分まで1,500円(税込)

8ミリフィルムもダビングOKです!! 価格応談

(有)坂下電化センター TEL 35-2138


普代ポイントカード会からのお知らせ!!

「毎月10名様にラッキーチャンス、2,000円の商品券が当たります」4月当選者は以下の方々です。

大上八重子様(太田名部) 太田稲子様(太田名部) 奥地正太郎様(田野畑村) 加山里子様(中央区) 川向智江様(旭日区) 照井五百枝様(太田名部) 中山ミツ様(上区) 野崎茂子様(中央区) 三上リヨ様(黒崎) ほか1名様

普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

お買い物は、ぜひ普代ポイントカード会加入店のご利用をお願いいたします。



普代オーシャンズ優勝

高円宮賜杯第32回全日本学童軟式野球大会マクドナルドトーナメント下閉伊北部予選が4月29、30の両日、楽天イーグルス岩泉球場で行われ、普代オーシャンズ（畠山祐成主将、団員17人）が決勝で田野畑スピリッツベースボールクラブを12-5で下し、2年ぶりの優勝カップを手に入れました。今年のオーシャンズは冬の間も練習を重ね、春からの練習試合では9勝2引き分けで負けなし。本大会を含めると11連勝中と好調です。砂子重良監督

(36)は「2試合とも選手たちが最後まで集中を切らさずプレーしてくれました。一方でいろいろな課題も見えたので、修正さらにチーム力を高めていきたいです」と話していました。県大会は6月2、3の両日、大船渡市で行われます。畠山主将は「一つのミスから試合を崩していかないように、一生懸命練習をして県大会も頑張ります」と意気込みます。県大会でも普代旋風を巻き起こせ！ **GO! 普代オーシャンズ!! GO!!!**



一球入魂



投打に活躍したエースの上向穰司君。本大会では最優秀選手賞にも輝きました

県大会も勝ち進むぞ！オーツ！



優勝カップと賞状を手に県大会に闘志を燃やす選手ら（岩泉球場）

【大会結果】

◆準決勝（対龍泉洞Jスターズ戦、4/29）

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
普代	1	0	8	1	2			12
龍泉洞	1	0	0	0	1			2

（5回コールド）

◆決勝（対田野畑S B B C戦、4/30）

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
普代	3	1	1	0	3	2	0	10
田野畑	0	0	4	0	1	0	0	5



人口と世帯

4月末現在

	前月比	前年比
人口	2,998人 (-3)	(-53)
(男)	1,467人 (-1)	(-27)
(女)	1,531人 (-2)	(-26)
世帯	1,119戸 (+3)	(-1)

今月は広報発刊600号記念号。何を企画しようか迷いましたが、広報のことを皆さんに知ってほしいと思い「広報ふだい」自体を特集しました。いかがでしたでしょうか▼村民の皆さんと行政をつなぐ「広報ふだい」で、皆さんを元気づけたい、勇気づけたい、痛みを分かち合いたい、そんな思いでこれまで編集に当たってきました。どんなに書いても伝わらないう、どんな表現にしたら届くんだろう。悩みは尽きません▼でも、皆さんを応援したいと思っていた私の方が、実は皆さんに応援されていたのかなど、600号に寄せられた声を聞いて感じました。感謝の気持ちでいっぱいです▼平成の大合併でなくなった広報紙もありますが、先輩方と村民の皆さんがつないできた「広報ふだい」がずっとずっと続きますように。そして、これからもご協力よろしくお願います。(森田)

ホッと一息

